

令和 2 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立 鶴見小学校 学校協議会

1 総括についての評価

本年度「子どもが安心して成長できる安全な学校の実現」の年度目標は、目標を達成したことを示すB評価であった。しかし「心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上」の年度目標においては、大阪市学力経年調査の結果が遅れていたり、全国体力・運動能力・運動習慣調査が中止になったりしたため評価できなかった。ただコロナ禍の中でも感染予防をしっかりと行い、創意工夫することによって本年度目標達成のための取り組みにおいては、目標を上回って達成できたA評価の取り組みもあった。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現 B評価

道徳授業、生活指導研修会、児童理解研修会や子どもの実態の情報交換を学校全体で定期的に取り組んだ結果、いじめの解消は100%であったということは評価できる。ただ油断しないで、いじめはいつ、どこでも起こるものであることを肝に銘じてほしい。

コロナ禍の中で不登校になる児童がいたので、原因分析や対応策も引き続き頑張ってほしい。

大阪市にはまだまだ施設がたくさんあるので、社会見学等の体験を積ませて、自分で考える力をつけてもらえるようにしてほしい。

年度目標：心豊かに力強く息抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上 評価できず

学力経年調査の結果が出ていないのは残念である。

取組内容①の指標の教員が年間一人一回の公開授業していることによって、特に若い先生の指導力向上に成果が出ているのではないか。今後も継続してほしい。

ICT機器を使った活動が増えてきているので、環境整備も含めて今後も進めていってほしい。

「全国体力・運動能力・運動習慣調査」も実施できなかったが、学校内での記録をみれば、昨年度の記録を超えており、取組内容⑤の指標が効果を発揮していると思う。

3 今後の学校園の運営についての意見

学校はコロナ禍の中でも頑張っている。成果も出ていて評価できる。

学校の評価を数値化することが難しいと思っていたが、うまく評価できている。

英語の授業が入ってきているが、それよりも日本語をしっかり学習させることも大切だと思うという意見があった。

今年度はコロナ禍で実現できなかったが、学校協議会委員などに学習参観してもらえたからっと学校のことがわかり、より具体的な意見も出るのではないかという意見があった。

今後もいじめのない学校づくりをして、子どもが安心して生活できるようにしてほしいと意見があった。

参考資料も付けられていたので、具体的にイメージできたので内容もよくわかってよかったです。

学校を通して、地域とPTAが連携していく仕組み作りも考えていきましょうと提案がされた。